



KAKUDAI

# バスびたり

## 取扱説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、バスびたりをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損など)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を示します。

### 使用上のご注意

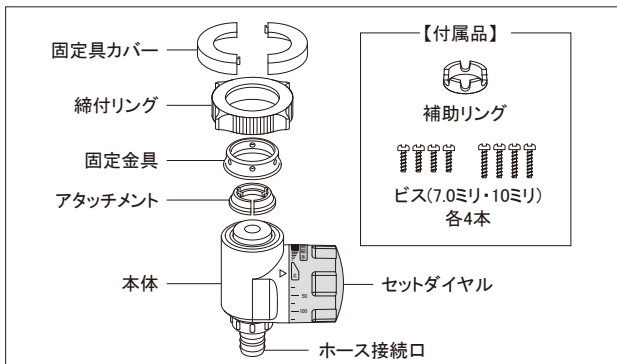


注意

- セットダイヤルの目盛は目安です。使用環境によっては正確な設定水量が得られない場合があります。
- 流量が8.0L/分以下では使用しないでください。精度が低下したり、定量止水しなくなる恐れがあります。
- 本品は屋内用です。屋内以外で使用しないでください。
- 元止式の湯沸器や温水器には使用できません。
- バランス釜、シングルレバー混合栓には使用できません。
- 逆流防止弁(逆止弁)のついていない混合栓には使用しないでください。器具破損の恐れがあります。
- セットダイヤルの自動回転をさまたげないでください。器具破損の恐れがあります。
- 定量止水状態で水栓のハンドルを閉めると、中の圧力が上がり、セットダイヤルがまわしくなる場合があります。無理にまわすと器具破損の恐れがあります。
- ホース接続口、または取付けたホースの先端を浴槽内の水に入れたまま放置しないでください。水が配管内に逆流する恐れがあります。
- 本品のホース接続口の先に、先端止水機能付きの器具は取付けしないでください。
- 本品を取付けることで、取付前より給水に時間がかかる場合があります。

## 製品同梱明細・各部のなまえ

施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。



\*上記部材に加えて、●取扱説明書を同梱しています。

## 施工に必要な工具

プラスドライバー



\*B、Cタイプの取付けに必要です。  
タイプは「取付けの前に」をご確認ください。

## 取付けの前に

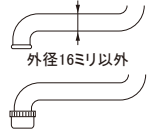
使用中の水栓の吐水口(パイプ)の種類によって取付方法が異なります。

**Aタイプ** 先端にふくらみのある  
外径16ミリの丸パイプ



外径16ミリ

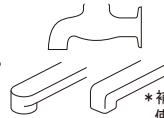
**Bタイプ** 先端にふくらみのある  
外径16ミリ以外の丸パイプ



外径16ミリ以外

泡沫金具つきネジ式パイプ

**Cタイプ** 先端が丸型の横水栓



先端が丸型・角型のパイプ

\*補助リングは  
使用できません。



注意

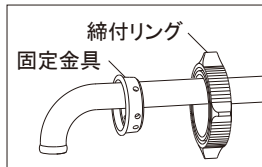
使用中の吐水口(パイプ)の先端から浴槽にフタをした面までの距離が10cm以上ない場合は、本品を取付けた際、浴槽にフタをすることができなくなるのでご注意ください。

## 取付方法

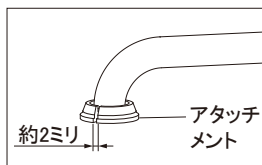
### 1. 本体をパイプに取付けます。

使用中の水栓(吐水口)のタイプに合わせて本体を取付けます。

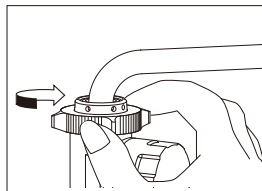
#### Aタイプ



①パイプの先から締付リング、固定金具を通します。



②アタッチメントをパイプのふくらみ部分に幅の広い方を下にして広げながらはめ込みます。



③固定金具、締付リングをパイプ先端に移し、本体を押さえながら、締付リングを使って締付けます。

\*本体は矢印(▶)が正面になるように取付けてください。

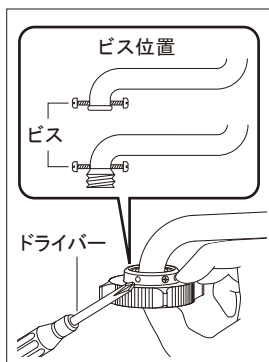
④水栓のハンドルを開いて、セットダイヤルを「連続給水」と「止」の位置にして、取付部より漏水がないかご確認ください。

裏面へ続く➡

# 取付方法(つづき)

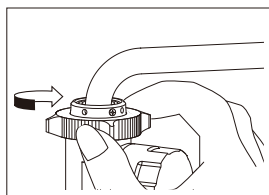
## Bタイプ

① 泡沫金具がついたパイプは泡沫金具を取外して作業をしてください。  
「ビス取付位置について」をご確認のうえ、適合ビスを選んでください。



② 固定金具を締付リングに通した状態で落下しないよう指で押さえながら、右図のビス位置でビスを取付けます。

\* パイプの中心と固定金具の中心が合うようにしてください。



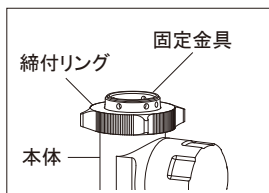
③ 本体を押さえながら、締付リングを使って締付けます。

\* 本体は矢印(▶)が正面になるように取付けてください。

\* アタッチメントは取外してください。

④ 水栓のハンドルを開いて、セットダイヤルを「連続給水」と「止」の位置にして、取付部より漏水がないかご確認ください。

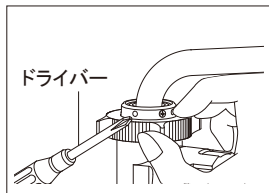
## Cタイプ



① 固定金具を締付リングで本体に取付けます。

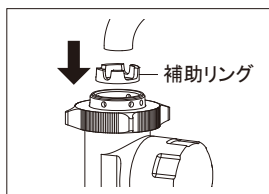
\* 締付リングは本体に締めきったあとに1回転程ゆるめておいてください。

\* アタッチメントは取外してください。

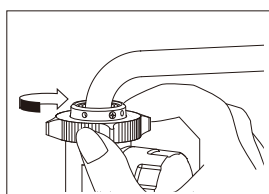


② 「ビス取付け位置について」をご確認のうえ、適合ビスを選び、パイプに取付けてください。

\* パイプの中心と固定金具の中心が合うようにしてください。



\* パイプの径が16~19ミリでパイプと固定金具の位置が合わせにくいときは、補助リングを固定金具の内側に重ねてご使用ください。



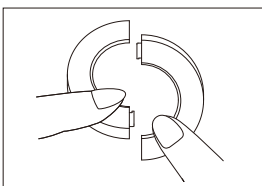
③ 本体を押さえながら、締付リングを使って締付けます。

\* 本体は矢印(▶)が正面になるように取付けてください。

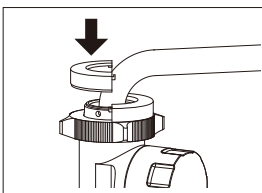
④ 水栓のハンドルを開いて、セットダイヤルを「連続給水」と「止」の位置にして、取付部より漏水がないかご確認ください。

# 取付方法(つづき)

## 2. 固定具カバーの取付け

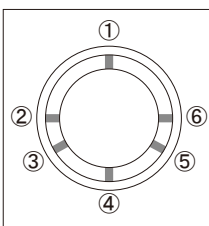


① 固定具カバーをひねるようにして2つに分けてください。



② 2つの固定具カバーを①と逆の方向ではめ込み、締付リングにのせます。

## ビス取付位置について



\* B、Cタイプの取付けの際に必ずお読みください。

固定金具には、6箇所ビス用の穴があります。  
丸パイプ、先端が丸型のパイプには3箇所、  
先端が角型のパイプには4箇所使用します。

● 先端が丸型のパイプ  
①③⑤の3箇所を取付けます。

● 先端が角型のパイプ  
①②④⑥の4箇所を取付けます。

使用するビス	
長いビス(10ミリ)	外径16~22ミリのパイプ
短いビス(7.0ミリ)	外径22~23ミリのパイプ

\* ビスの長さが合っていないと、固定具カバーがうまくはまりませんので、適切なビスをご使用ください。

## 使用方法

① 水栓を開き、セットダイヤルをまわして、ご希望の給水量の目盛を本体の矢印(▶)に合わせてください。

\* 100L以下に設定する場合は、一度目盛を100L以上にまわしてから、ダイヤルを戻しながら設定してください。

\* 給水量を設定せずに連続で給水したい場合は、セットダイヤルを「連続給水」側にまわしてください。

参考水量

一般家庭のお風呂：約160~180L

② 定量止水後は必ずセットダイヤルを「連続給水」の位置に戻し、水栓のハンドルを開けて止水してください。



注意

セットダイヤルの目盛は目安です。使用環境によっては正確な設定水量が得られない場合があります。

●水と住まいの接点  
株式会社 **カクダイ**

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124  
0820SG M-H1801B

無断転載・複写を禁ず